

このたびは、トヨタ純正おくだけ充電をお買い上げいただきましてありがとうございます。
本書は、おくだけ充電を取り付ける場合の取付要領について記載してあります。
取り付けの前に必ずお読みいただき、記載された内容に従って正しい取り付けを行ってください。
特に、

- ・本品を改造しての取り付けは、絶対に行わないでください。
- ・記載事項を守らなかったために発生した不具合につきましては、責任を負いかねる場合がありますのであらかじめご承知置きください。

【別紙の取扱書は、必ずお客様にお渡しください。】

品 番

品 番	08676-B1050
-----	-------------

構成部品名

【取り付け前に以下の表に従って部品がそろっているかご確認ください】

No.	品 名	個数
1	ワイヤレス充電器	1
2	ワイヤーハーネス	1
3	エレクトロタップ	4
4	バンドクランプ	11
5	保護シート	1
6	取付要領書	1
7	取扱書	1

使用工具・用意するもの

クリップクランプツール、マイナスドライバー（小）、ラジオペンチ、ボックスレンチ(10mm)、プライヤー、ビニールテープ、精密ドライバー(-)、ニッパー、スケール、テスター、保護テープ、保護手袋

取り付け上の注意

この取付要領書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

⚠注意 … 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を破損するなどの恐れがあります。

ℹアドバイス … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

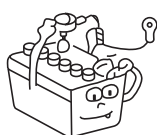
- 本文中の **⚠注意** は必ず取り付けに反映させて作業を行ってください。もし **⚠注意** を無視して取り付けると製品の機能を阻害するばかりでなく、車両故障につながる恐れがあります。
- 取り付け作業を容易に進行するために **ℹアドバイス** をお読みください。
- 取り付け作業は安全な場所に車を駐車させ、パーキングブレーキを確実に作動させてください。
- 車両部品の取りはずしに際しては、クリップ、スクリュー、ボルト類は再使用しますので、紛失や損傷させないよう部品毎に整理し、復元作業時には間違えないよう配慮してください。
また、車両に傷を付けないよう取り扱いには、十分注意してください。
- 電動パーキングブレーキ付車は必ずスイッチの表示灯が点灯していることを確認してからバッテリー(－)端子をはずしてください。

取り付ける前に

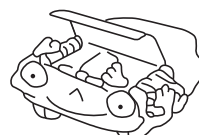
・車両のドアロック、パワーウィンド、ランプ、ホーン、ワイパー等の装置が正常に作動するか確認しておく。



・必ず、バッテリーの()ケーブルははずしてから作業を行う。

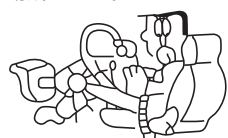


・大切な車を守るために必要部分にカバーを取り付ける。

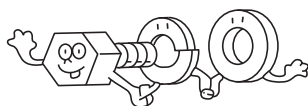


部品の取り付けは

・運転のじゃまや、居住性をそこわない場所を選ぶ。



・ボルト、ナットの締め付けは必ず規定のものを使用する。



・ボルト、ナットの締め付けには寸法にあった工具を使用し、トルク指示のあるものはトルクレンチを使用する。



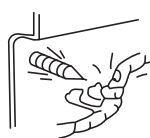
・車両のボルト、ナットなどを使用して共締めする場合、ステアリングやブレーキ燃料系など重要部品のものには使用しない。



・締め付けを行う際、ワイヤーハーネスなど挟み込んでいないことを確認してから行う。

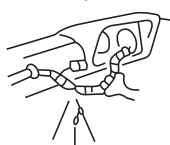


・取り付け穴をあける場合、必ず裏側に何も無いことを確認すること。

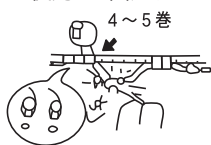


配線は

・車両のワイヤーハーネスはコネクターの嵌合不良や損傷防止のため引っ張るなど力をかけないこと。



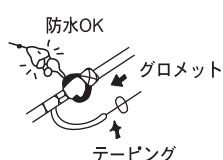
・配線作業時にコネクタなどはブラブラしないように幹線にテープ巻きするかクランプなどを使用して固定すること。



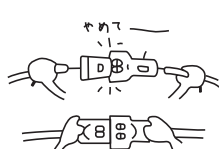
・ワイヤーハーネスは取り付け部品での噛み込み、板金エッジ可動部品、樹脂バリと干渉しない場所を配線し、確実に固定すること。



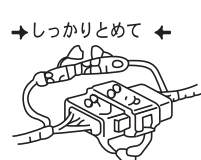
・室外から室内への配線にはグロメットを使用する等確実な防水対策を施すこと。



・コネクタをはずす場合はコネクタ本体を持ち、ハーネスを引っ張らないこと。

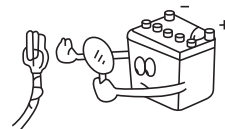


・コネクタやターミナルは、確実に接続し、必ず確認を行うこと。



取り付けが終わったら

・バッテリーのケーブルを復元する前に配線状態を確認する。



・取り付けした用品の作動確認を行うと同時に、車両の機器、装置が正常に作動することを確認する。



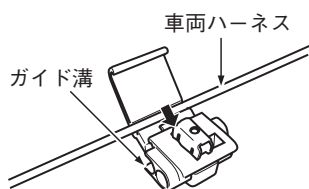
エレクトロタップの接続方法

エレクトロタップの使用上の注意事項

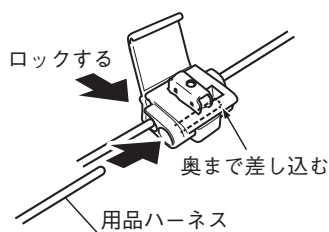
- (1) 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないよう充分注意してください。
- (2) エレクトロタップは、他の用品が装着されている場合でも必ず、車両ハーネスに接続してください。
- (3) エレクトロタップの接続時に、クリック音と合わせてロックが確実に嵌合したことを確認してください。
- (4) 接続するコネクタの端子番号及び、用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。
- (5) 同一コネクタに複数のエレクトロタップを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
- (6) ヒンジ部が破損しても確実にロックできれば性能上問題ありません。
- (7) 一度使用したエレクトロタップは再使用しないでください。誤って接続した場合、エレクトロタップを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

エレクトロタップの接続手順

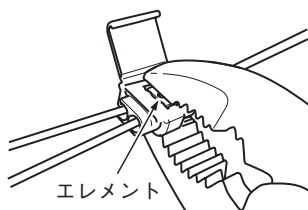
【1】



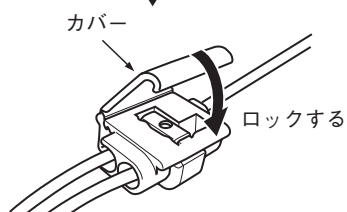
【2】【3】



【4】



【5】



⚠注意

- ・【5】カバーは、手でロックしてください。プライヤー等で強く抑えるとロックが変形してはずれのおそれがあります。

1. 接続する車両側ハーネスに接続スペースが無い場合は、車両側ハーネスの外装（ビニールチューブ、ビニールテープ等）をカットしてください。
2. 車両ハーネスをエレクトロタップのガイド溝に通し【1】、エレクトロタップをロックします【2】。
3. 用品ハーネスを分岐穴に奥まで差し込みます【3】。
4. プライヤーでエレメントを押し込み、圧着します【4】。

⚠注意

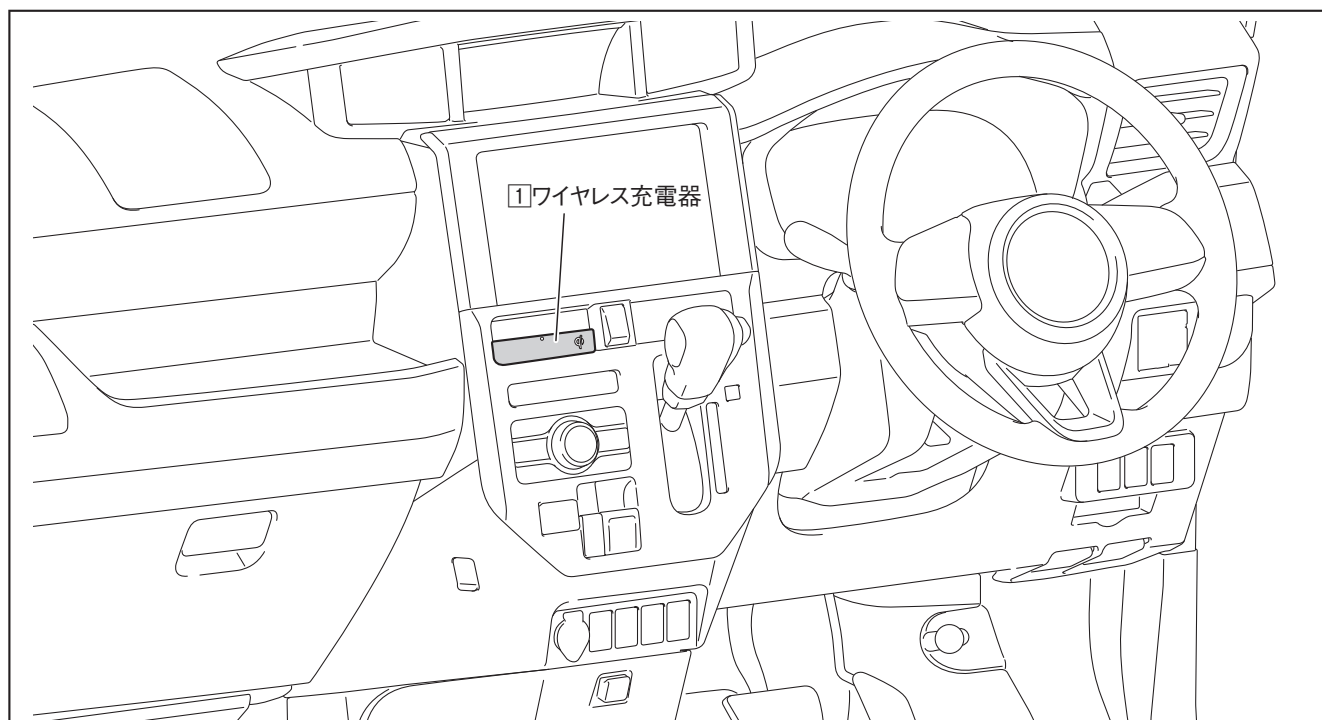
- ・圧着は斜め方向に力が加わらないように確実に行ってください。斜め方向に力が加わった場合、圧着不良となるおそれがあります。

5. エレクトロタップのカバーを折り曲げ、ロックします【5】。
6. エレクトロタップにビニールテープを他の車両ハーネスごと巻き付けてください。

⚠注意

- ・車両配線色は色が変わることがありますので、念の為配線図集を確認してください。

取 付 概 要



車両部品の取りはずし

※取りはずしに必要なコネクターの接続をはずし、番号順に部品を取りはずしてください。

シフトロックリリースボタンカバー

マイナスドライバー (小)

△ : ツメ位置 (2箇所)

シフトロック解除ボタン

マイナスドライバー (小)

シフトレバー

●保護テープを巻いたマイナスドライバー (小) を吹き出しの矢印の方向へ動かし、シフトロックリリースボタンカバーを取りはずす。

●シフトロック解除ボタンをマイナスドライバー (小) で押しながら、シフトレバーを N ポジションにする。

△注意

- ・電動パーキングブレーキ付車は必ずスイッチの表示灯が点灯している事を確認してからバッテリー (-) 端子をはずしてください。
- ・作業前にパーキングブレーキが掛かっていることを確認してください。

1

①

②

シフトレバーラッチ

■ : 傷付き防止用保護テープ貼り付け位置

●矢印①の方向にシフトレバーラッチを広げる。

●矢印②の方向にスライドさせてシフトレバーラッチを取りはずす。

△注意

- ・シフトレバーラッチの破損の原因となるため、マイナスドライバー等を使用しないでください。

シフトレバーノブS/A

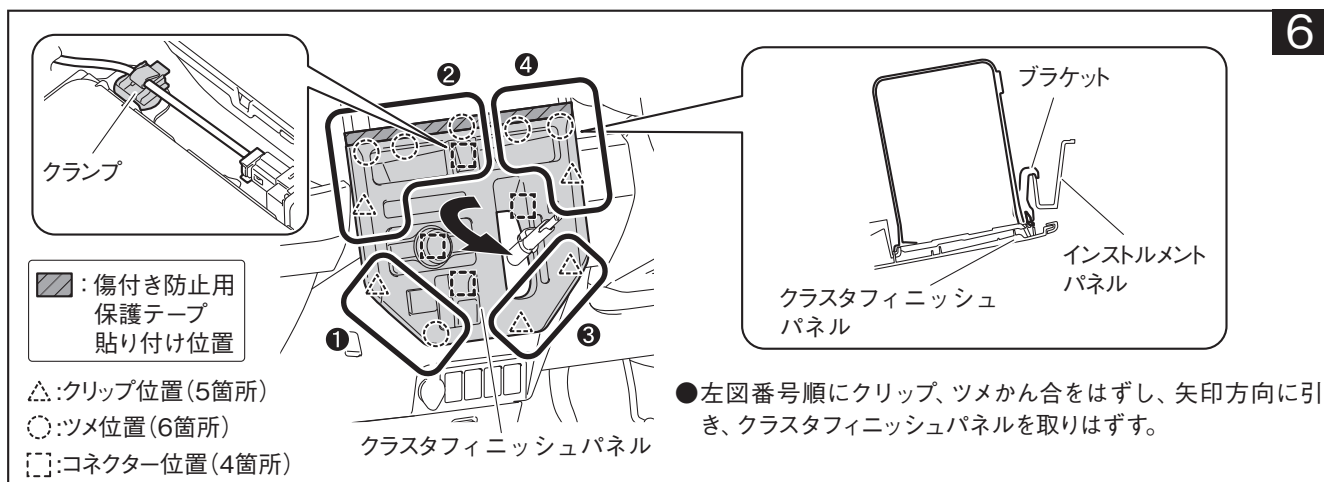
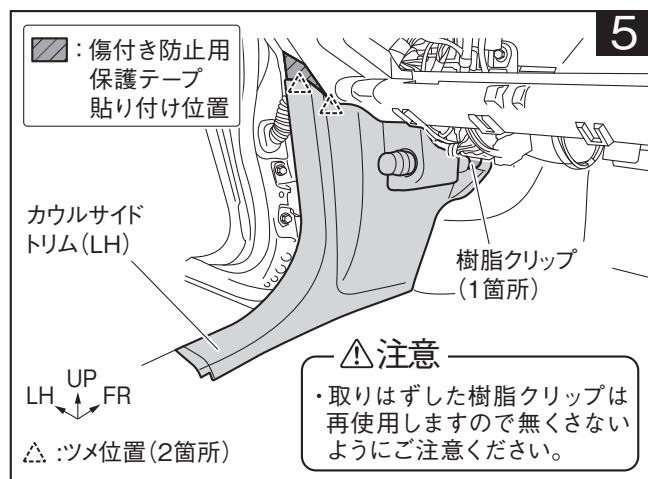
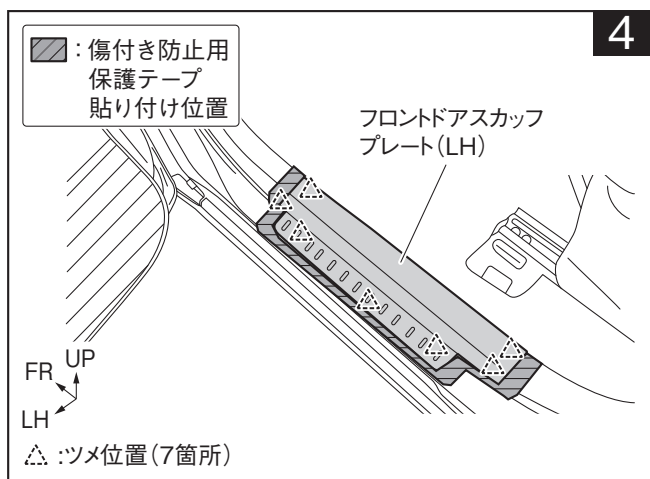
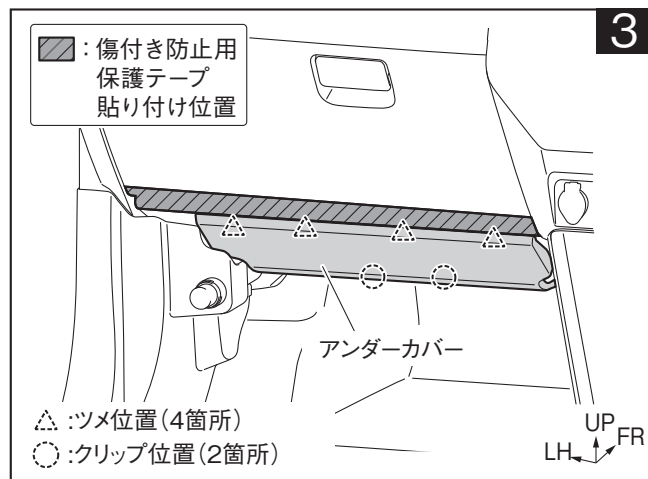
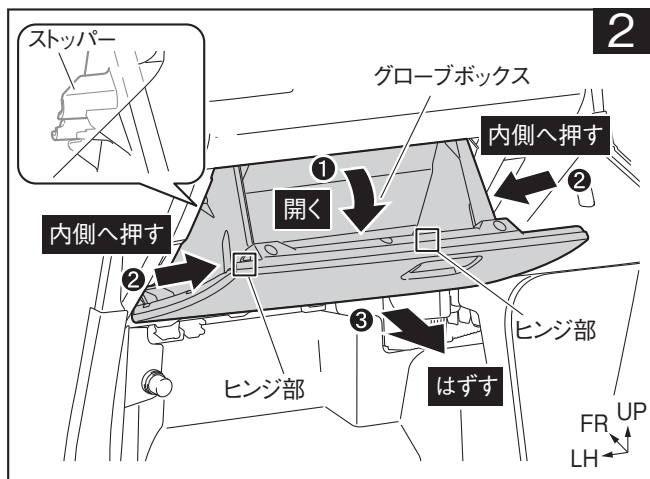
シフトレバーリング

A

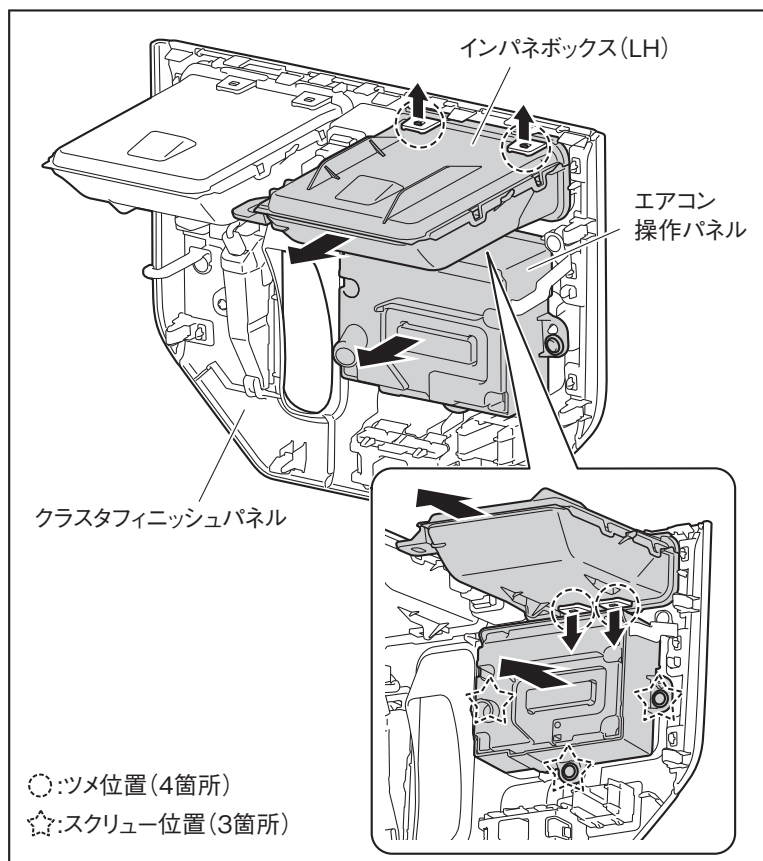
●シフトレバーリングを取りはずし、シフトレバーノブS/Aを取りはずす。

△注意

- ・シフトレバーリング変形の原因となるため、マイナスドライバー等を使用しないでください。
- ・シフトレバーリングを取り付けた際、図に示すシフトレバーリングの寸法Aを測定してください。
基準：11.9～12.9mm
寸法Aが基準値からはずれている場合はシフトレバーリングを新品に交換してください。



取 付 要 領



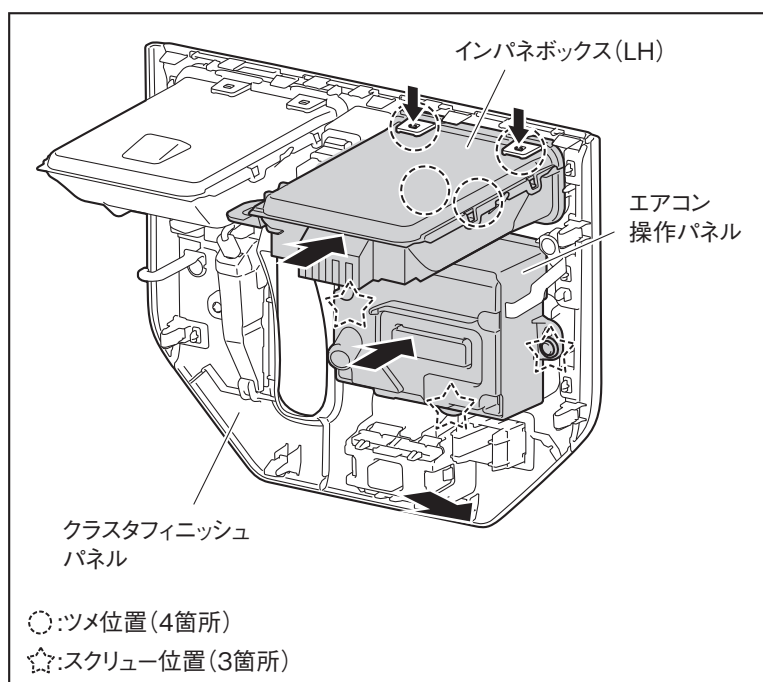
1. ワイヤレス充電器の取り付け

- (1) クラスタフィニッシュパネルからエアコン操作パネルを取りはずす。

⚠ 注意

- ・取りはずしたスクリューは再使用します。無くさないように保管してください。

- (2) クラスタフィニッシュパネルからインパネボックス (LH) を取りはずす。

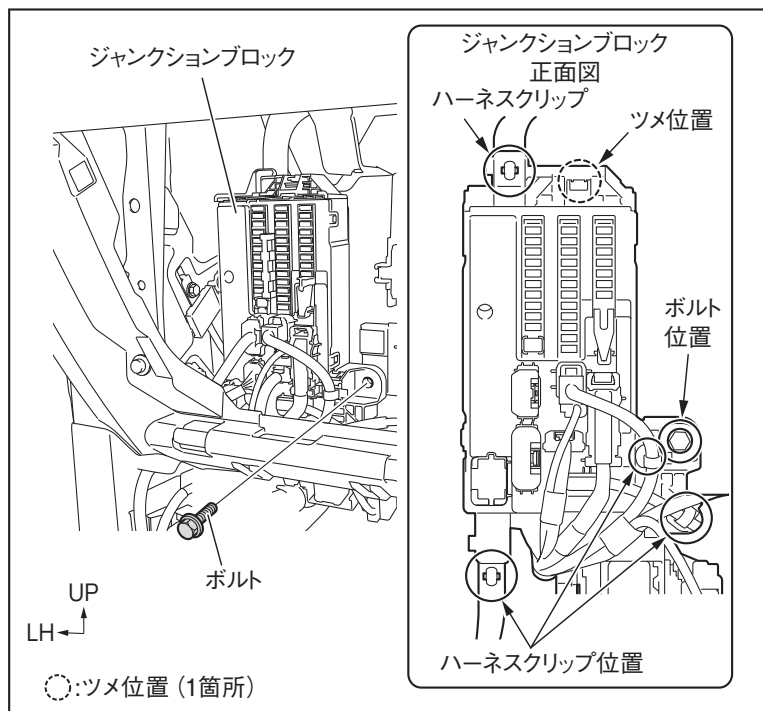


- (3) クラスタフィニッシュパネルに①ワイヤレス充電器を取り付ける。

⚠ 注意

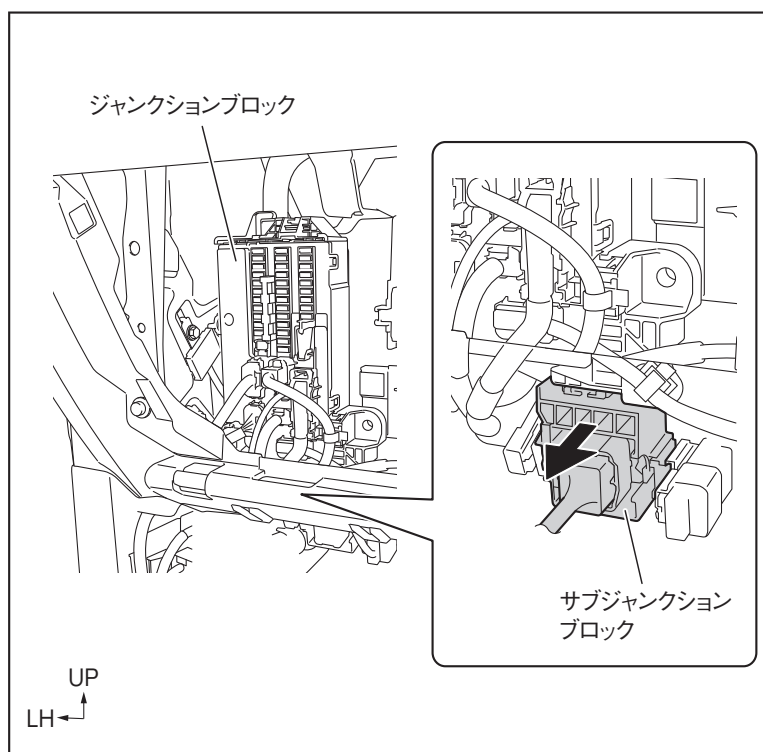
- ・取り付け後、ガタツキがないことを確認してください。

- (4) エアコン操作パネルを復元する。



2. ワイヤハーネスの取り付け

- (1) 左図を参照し、ハーネスクリップのかん合 (4箇所) とボルト (1箇所) を取りはずした後、ジャンクションブロックのツメのかん合をはずす。



- (2) 左図矢印方向にスライドさせ、ジャンクションブロックからサブジャンクションブロックのかん合をはずす。

アドバイス

- ・サブジャンクションブロックのかん合をはずすのに必要なコネクタのみをはずしてください。

- (3) ジャンクションブロックについている全てのコネクタの接続をはずし、ジャンクションブロックを取りはずす。

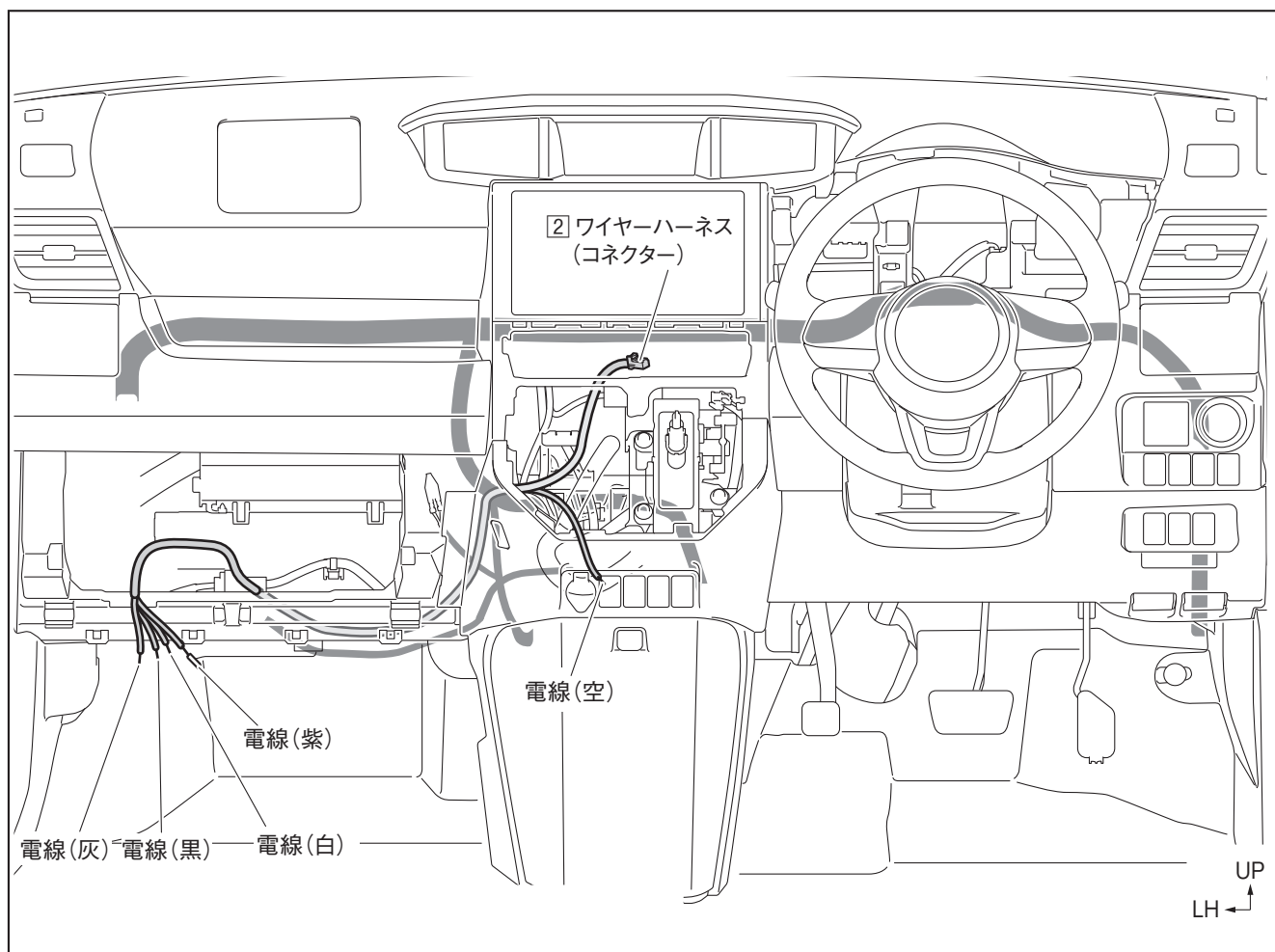
アドバイス

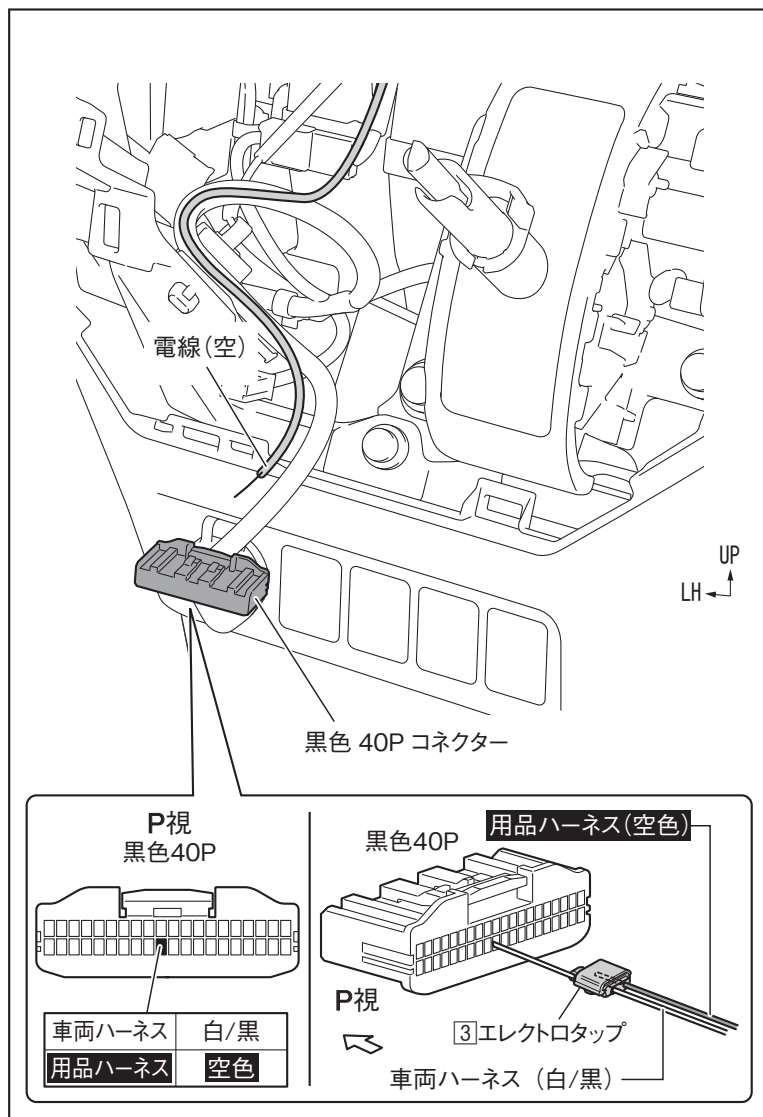
- ・ジャンクションブロックの裏側のコネクタもはずしてください。

注意

- ・ジャンクションブロックの復元時は、コネクタの挿し忘れや半かん合に注意し、復元作業を行ってください。

(4) 下図を参照し、車両ハーネスに沿って②ワイヤーハーネスを仮配線する。



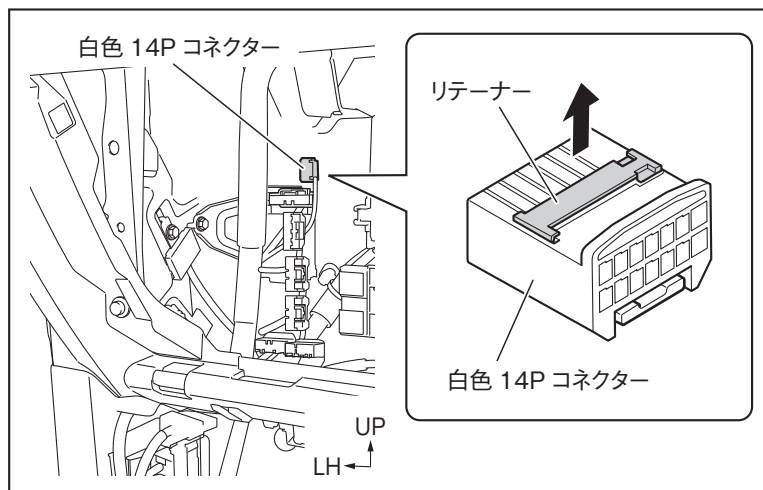


3.エレクトロタップの接続 【黒色40Pエアコンコネクター】

- (1) ②ワイヤーハーネスの電線 (空) を黒色 40Pエアコンコネクターの図の位置【電線 (白/黒)】に③エレクトロタップで接続する。

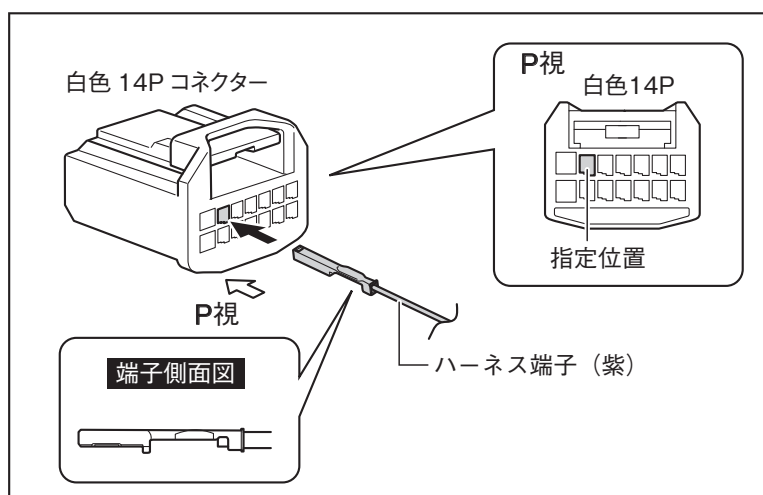
⚠注意

- ・ ③エレクトロタップの接続作業は3ページをご参照ください。(以下同様)
- ・ ③エレクトロタップを接続する際は、線色をよく確認してください。
- ・ 接続を間違えた場合、ワイヤレス充電器が正常に作動しなくなります。



【ジャンクションブロック裏白色14Pコネクター】

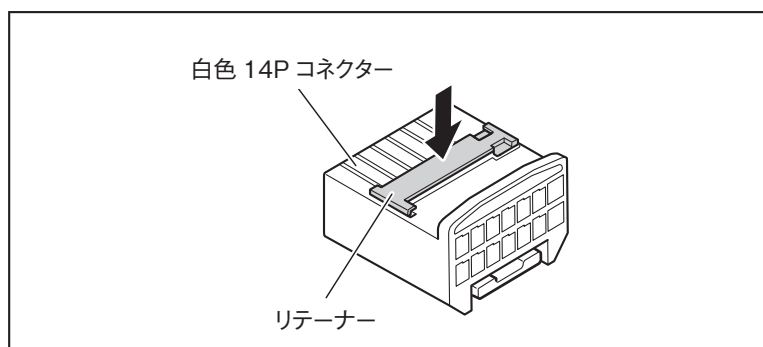
- (2) ジャンクションブロック裏の白色14Pコネクターのリテーナーのロックを精密ドライバー等で解除する。



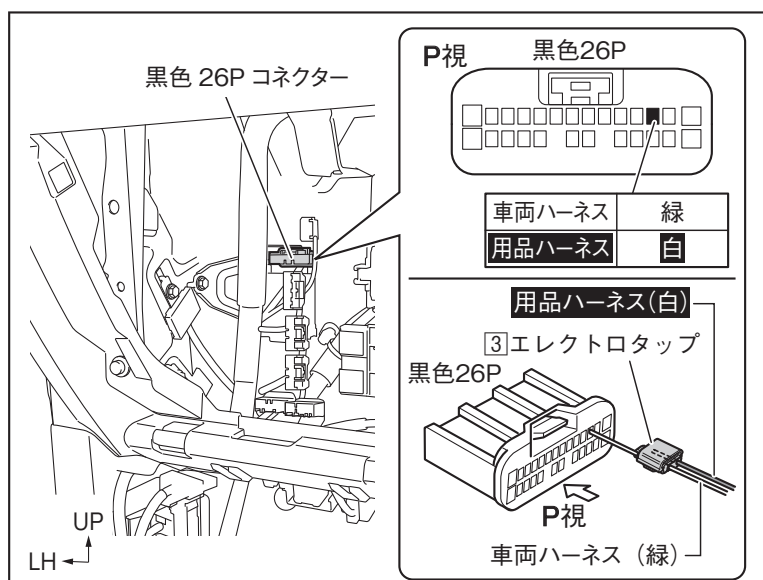
- (3) ②ワイヤハーネスのハーネス端子（紫）を白色14Pコネクターの左図番地に挿入する。

⚠注意

- ・挿入する際、端子の向きに注意し、かん合音ができるまで挿し込んでください。

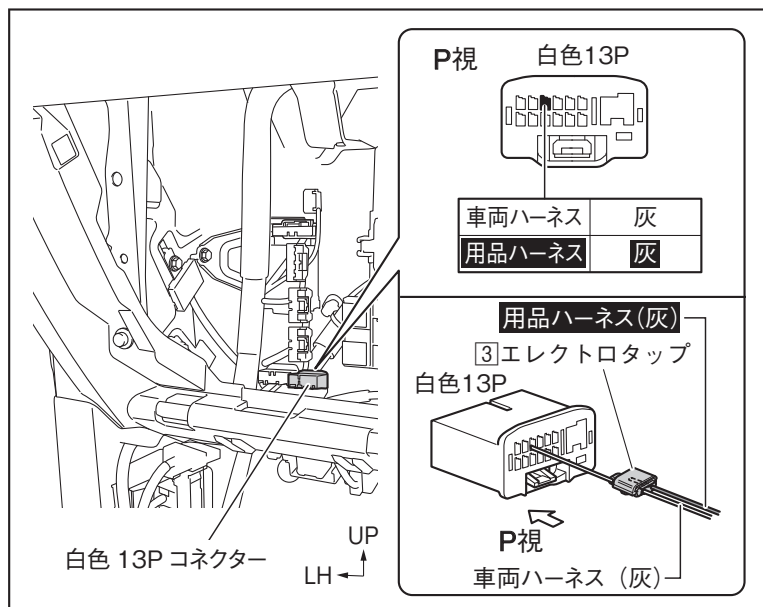


- (4) リテーナーを押し込み、ロックする。

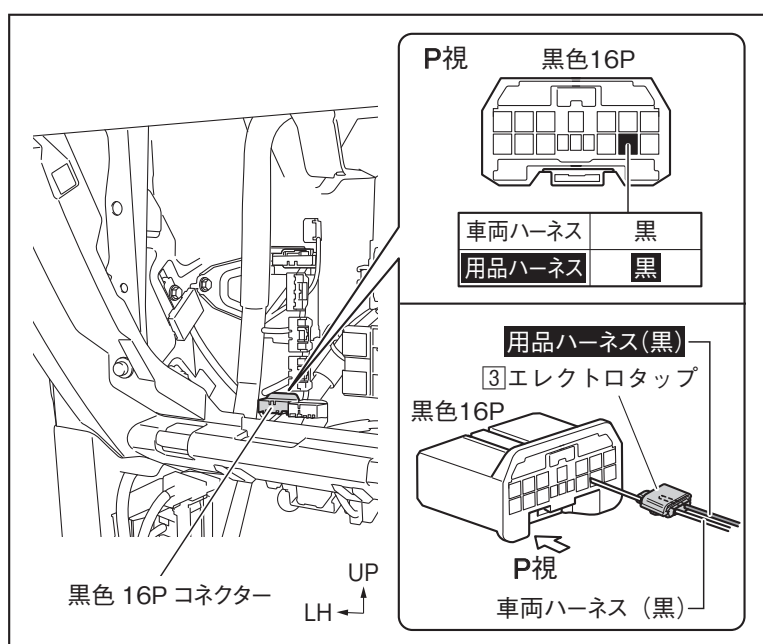


【ジャンクションブロック裏黒色26Pコネクター】

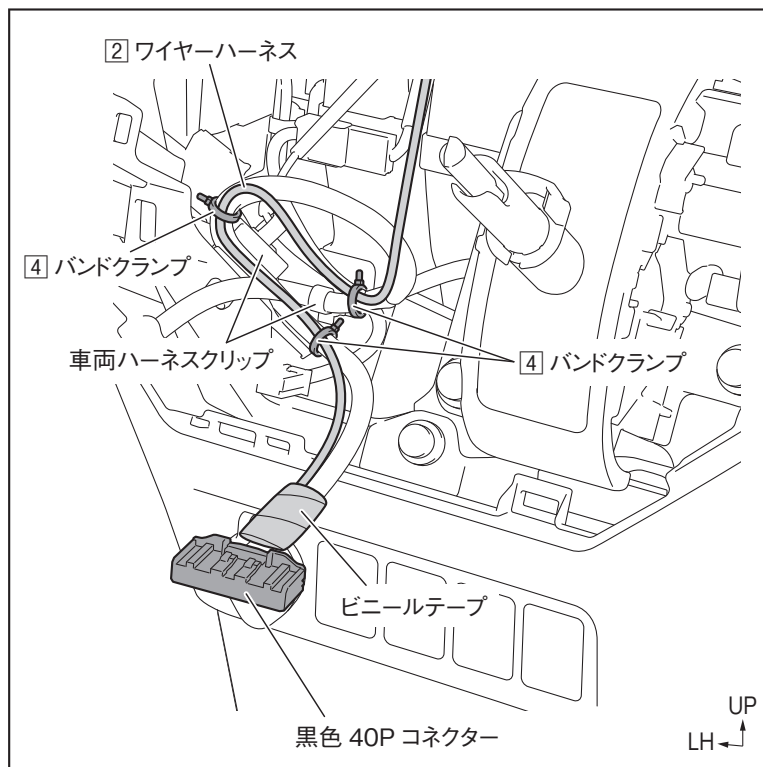
- (5) ②ワイヤーハーネスの電線（白）を黒色26Pコネクターの図の位置【電線（緑）】に③エレクトロタップで接続する。



- (6) ②ワイヤーハーネスの電線(灰)を白色13Pコネクターの図の位置【電線(灰)】に③エレクトロタップで接続する。

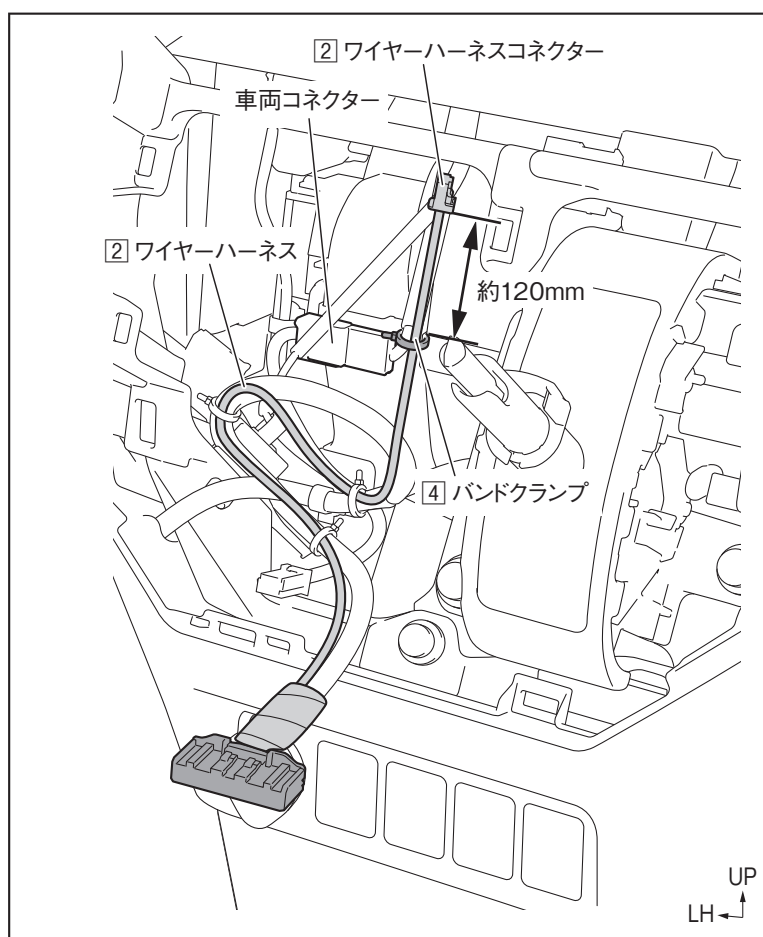


- (7) ②ワイヤーハーネスの電線(黒)を黒色16Pコネクターの図の位置【電線(黒)】に③エレクトロタップで接続する。



4. ワイヤーハーネスの固定

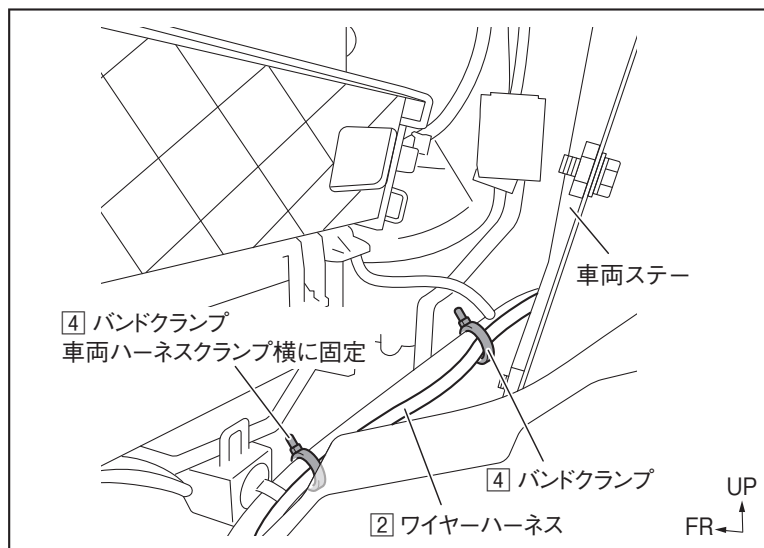
- (1) 3. (1) で接続した③エレクトロタップにビニールテープを巻き付け、車両ハーネスと共に巻く。
- (2) ②ワイヤーハーネスを車両ハーネスクリップ付近に④バンドクランプで固定する。(3箇所)



- (3) 左図の車両コネクター首下から②ワイヤーのハーネスコネクター首下まで約120mm確保し、④バンドクランプで固定する。(1箇所)

△注意

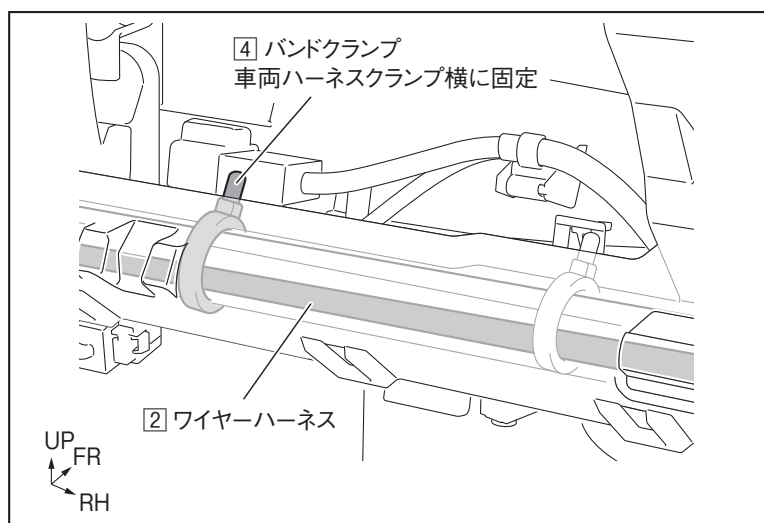
- ・車両コネクターの素線部にはクランプしないでください。



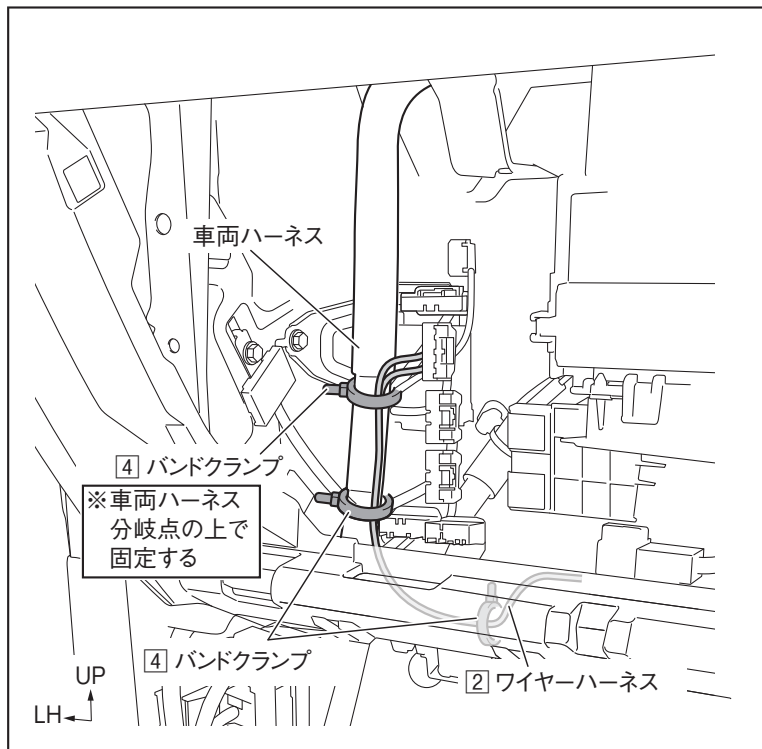
- (4) ②ワイヤーハーネスを車両ハーネスに④バンドクランプで固定する。
(2箇所)

⚠注意

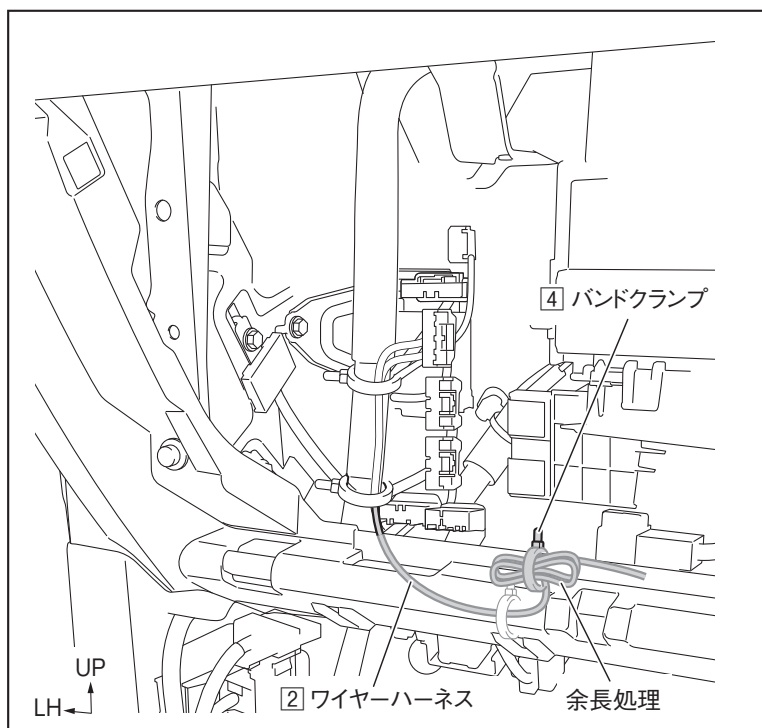
- ・車両ステーのエッジ部に干渉しないように②ワイヤーハーネスを固定してください。



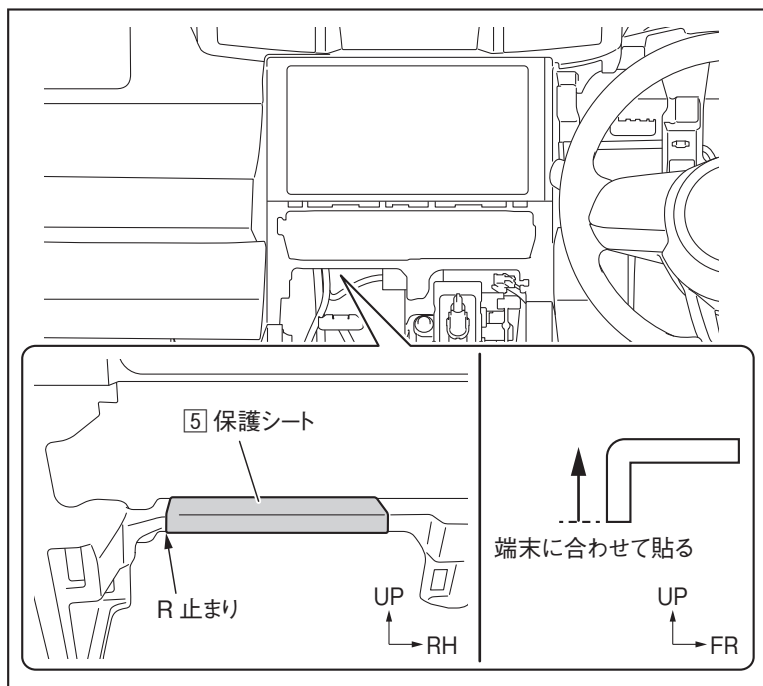
- (5) 左図を参照し、②ワイヤーハーネスを車両ハーネスに沿ってたるみのないように④バンドクランプで固定します。
(1箇所)



- (6) 2 ワイヤーハーネスを車両ハーネスに4 バンドクランプで固定する。
(3箇所)



- (7) 2 ワイヤーハーネスの余長を処理し、車両ハーネスクリップ付近に4 バンドクランプで固定する。(1箇所)

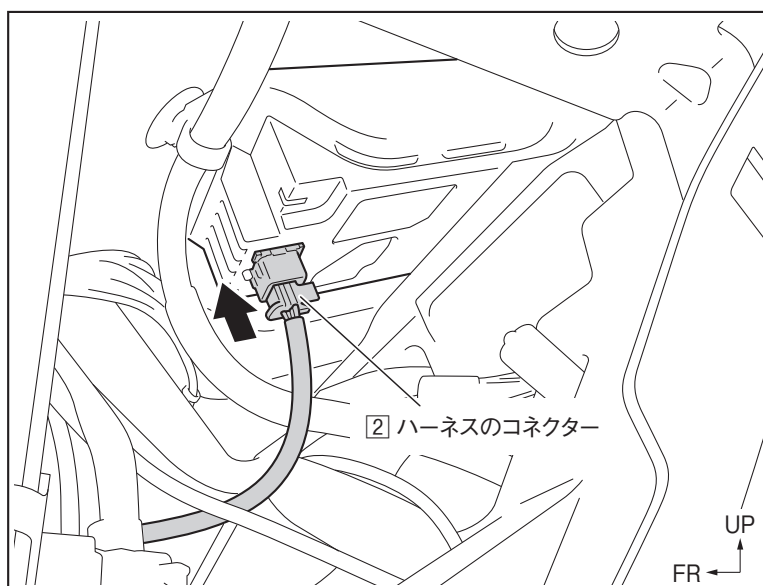


5. ワイヤレス充電器の取り付け

- (1) 左図位置に⑤保護シートを貼る。
- (2) 取りはずした車両ハーネスコネクタを接続し、クラスタフィニッシュパネルを復元する。

⚠注意

- ・車両コネクタ接続後、コネクタがはずれないことを確認してください。



- (3) グローブボックス裏右上から手を入れ、②ハーネスのコネクタを①ワイヤレス充電器 (Qi) に接続する。

⚠注意

- ・コネクタ接続後、コネクタがはずれないことを確認してください。

復元作業

「作動確認」完了後、取りはずした車両部品を元通りに取り付けます。また復元の際は、下記の点に注意して作業を行ってください。

⚠注意

- 車両部品のコネクタ類は、全て仮接続してから、作動確認を行ってください。
- コネクタの挿し忘れ、半かん合に注意し、復元してください。
- 復元時に、車両ハーネスおよび②ワイヤーハーネスを噛み込んだり、車両部品を破損させないように注意してください。
- ④バンドクランプの余長部分のカットし忘れがないか確認してください。

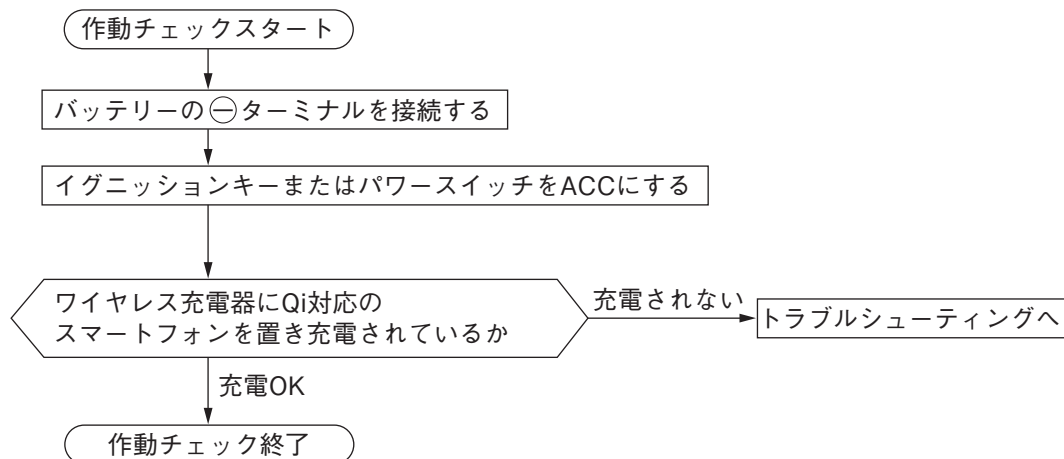
バッテリー復元時の注意事項

- ・バッテリー復元作業終了後、車両機能部品に初期化が必要な部品がありますので、作業終了後は必ず初期化作業を行ってください。

作 動 確 認

1. 配線や取り付けに異常がないか点検してください。特に、車両ハーネスおよびワイヤーハーネスについて、もう一度点検してください。

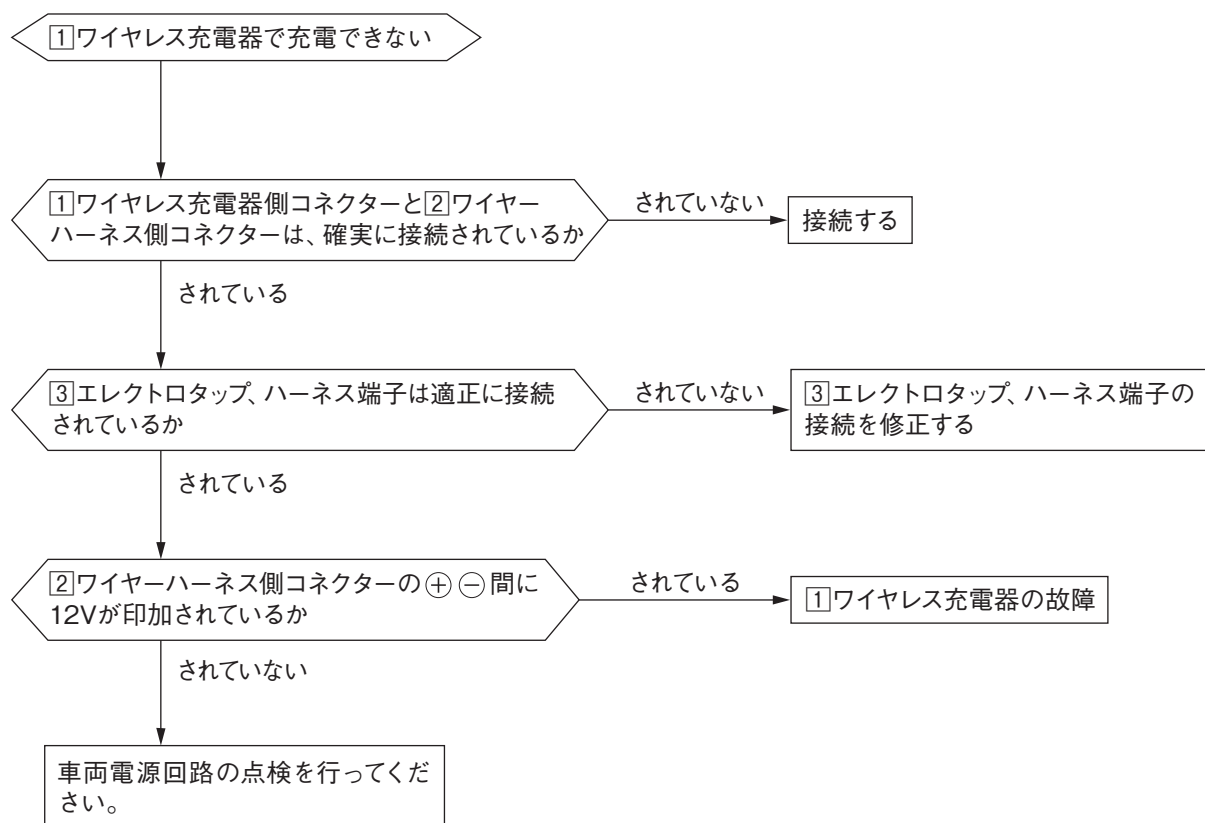
- 配線の噛み込みや無理に押されたり、引っ張られたりしていないか。
- ハンドクランプなど、固定のはずれや部品の締め付け忘れはないか。



※…使用する接続機器によっては充電できない場合がありますのでスマートフォンなどの機器を変え、再度確認してください。

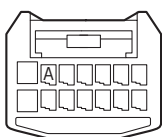
トラブルシューティング

このトラブルシューティングは、取り付け完了後の点検時に発生した作動不良について、その点検方法を記載しています。導通、電圧の点検は、テスターを使用してください。

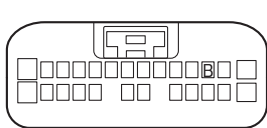


回路図

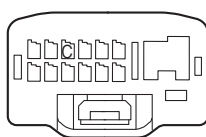
白色14P
ハーネス側面視



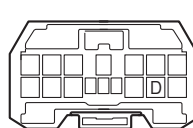
黒色26P
ハーネス側面視



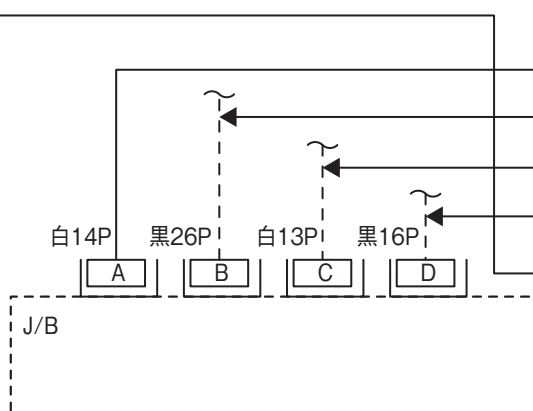
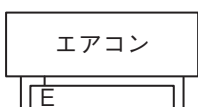
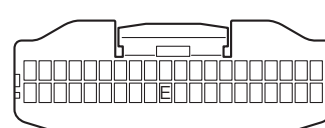
白色13P
ハーネス側面視



黒色16P
ハーネス側面視



黒色40P
ハーネス側面視



ワイヤレス充電器本体

黒8P
紫 6
白 3
灰 4
黒 2
空色 1

BODY ECU
ACC
+B
ILL
GND



- 車両ハーネス
- 用品ハーネス
- ← エレクトロタップ